

LifeStyle Book

A GUIDE FOR CREATE YOUR LIFESTYLE



公園住宅イッテ

CONTENT

まちとつながる。ひととつながる公園のある暮らし

1. まちとつながる。ひととつながる公園のある暮らし
2. 公園は、みんなの庭。そして自分の庭。
3. 暮らしをほんの少しまちにひらくと毎日が楽しくなる
4. 好きなこと、得意なことが小さなしごとに。
「なりわい暮らし」という新しいライフスタイル
5. ともにつくる、つかう、育てるまちの風景
エリアマネジメントのしくみ
6. 公園住宅イッテの魅力を高め、未来へとつなげていくために

公園住宅イッテは、すべての住宅が公園や緑道に隣接するという特徴を持つ、新しい暮らしのかたちを提案する住宅エリアです。

このまちに暮らすということは、単に家を所有することではなく、プライバシーを大切にしながらも、ほどよい距離感でコミュニティとつながり、自分らしい生活スタイルを育んでいくことを意味します。

朝の散歩で隣人と挨拶を交わし、週末には緑道沿いで開かれる小さなマルシェに子どもたちと足を運ぶ。そんな自然な交流が日常の風景となる。それが、公園住宅イッテならではの暮らしです。

住まいを選ぶことは、生き方を選ぶこと。

このブックを通して、あなたらしい暮らしのイメージを、ぜひ思い描いてみてください。

まちとつながる。 ひととつながる。 公園のある暮らし



旧長清水公園

地域のシンボルである桜に加え、
滑り台や昔ながらの水ポンプもある
子どもたちの基地！



交流棟とにぎわい広場

コミュニティ活動の中心となる場所。
DIY やガーデニング、料理などの道具
と活動スペースを備えています。
壁をとりはらった開放的な空間なの
で、いつでも気軽に立ち寄り、仲間
と交流することができます。

まちのあちこちに、ほっとできる場所や みんなで使える場所がいっぱい

公園住宅イッテには、住民同士の交流が自然と生まれる居場所がいっぱい。
四季を通して公園住宅イッテならではのさまざまな活動を行うための仲間
づくりを進めていきます。ここで暮らす人たちのアイデア次第で広場や
ストリートの使い方が広がっていきます。



緑のストリート

緩やかなカーブを描く歩道は、心
地よく歩く、佇む、人のための「みち」。
リズムカルに配置された木々によっ
て、視界に入る自然を感じさせなが
ら、住宅のプライバシーも守ってく
れます。



原っぱの丘

子どもたちが大好きな新幹線や山々
の風景を存分に堪能できるとってお
きのスポット。寝そべったり滑った
り、木陰で本を読んだり。暮らしの
すぐそばにある緑の丘は気分転換に
最高の場所です。



緑と水のひろば

普段はイベントもできる広場は、夏になると
水遊びができる広場に変身！水と緑のイイ関
係が、並木道の緑とともに四季折々の風景を
見せてくれます。マルシェやフリーマーケッ
トなど、広がりのある活動ができます。

公園は、
みんなの庭。そして自分の庭。



image | 南池袋公園 / nest,inc.



image | morineki / blue studio



image | morineki / blue studio



image | WORKVISIONS

暮らしの楽しみと場を自分たちで作り、
まちの魅力を育てていく。

暮らしや活動を楽しみながら、時代とともに変化し、成長していくことで、
まちの魅力を未来につなげていくこと。
これが公園住宅イッテのコンセプトです。

たとえば、朝の散歩で隣人と挨拶を交わし、週末には緑道沿いで開かれる小さなマルシェに参加したり、公園でのコミュニティガーデニングを楽しんだりする。そんな自然な交流が日常的に生まれる風景をここに暮らす人たちと一緒につくっていきたいと思っています。

アイデアと知恵を出し合って、自分たち好みのまちにカスタマイズし、暮らしの舞台としての公園住宅イッテの魅力を育てていくことで、「公園住宅イッテで過ごす時間がいちばん楽しい」「このまちに住んでみたい」と思えるようなまちになり、このまちで暮らすことが誇りになっていく。

そんなまちを一緒につくっていきましょう。

暮らしを
ほんの少しまちにひらくと
毎日が楽しくなる



日常の暮らしの中に、まちとつながる瞬間
を取り入れると、毎日の生活に新たな彩り
と喜びが生まれる。

私たちの暮らしは、ともすれば自分だけの空間に閉じこもりがちですが、ほんの少し暮らしをまちにひらくだけで、思いがけない出会いや発見が生まれ、日々はより豊かなものになっていきます。

庭先に小さな椅子を置いて、通りがかりの人と挨拶を交わすこと、週末に開かれる小さなマーケットに参加して手づくりの品を並べてみる。交流棟の掲示板に趣味の集まりを提案し、同じ興味を持つ仲間と出会うこと。好きな本や音楽、料理の知識をシェアすることも、暮らしをひらくひとつのかたちです。

暮らしをほんの少し開くことは、決して大きな変化を求めるものではありません。自分らしく、楽しみながら一歩を踏み出すこと。その小さな一歩が、まちとつながるきっかけとなり、日常をより豊かにしていくのです。

好きなこと、得意なことが
小さなしごとに。
「なりわい暮らし」という
新しいライフスタイル



好きなこと、得意なことをいかして、
シンプルながらも充実した日々を送る。



好きなことや得意なことをいかし、小さくても持続可能な収入源をつくる。それを「なりわい」として暮らす生き方は、現代の多様なライフスタイルの中で、ひととき魅力的な選択肢となっています。

大量消費や過度な成長を追い求めるのではなく、「ちょうどよい」規模で、自分らしく生きる。たとえば、パンづくりが好きな人はご近所向けの小さなベーカリーを。植物が好きな人は季節の花や野菜を育てて販売する。本が好きな人は、小さな本屋をひらいてみる。そんなふうに、自分のペースで地域とつながりながら、子どもたちとの時間や、自分自身の時間も大切にできることが、なりわい暮らしの魅力です。

さらに、複数の小さななりわいを組み合わせる「複業」スタイルなら、季節や暮らしの変化に合わせて柔軟に活動を広げることできます。無理なく続けられる規模で、自分の「好き」を育てていく。その積み重ねが、暮らしを豊かにしていきます。

公園住宅イッテには、広場や緑道に隣接しながらも、プライバシーを守りつつ、ほどよい距離感でコミュニティとつながれる環境が整えられています。物質的な豊かさよりも心の豊かさを、競争よりも共生を大切にする。自分の「好き」を仕事にし、自分らしいなりわい暮らしをはじめませんか。

ともにつくる、つかう、 育てるまちの風景 エリアマネジメントのしくみ



image | 沼津市中央公園 / WORKVISIONS



かみのやま温泉駅東エリア Park Picnic Trial / ITTEデザインミーティング

頼もしい仲間がいるから、
安全で安心。そして楽しい。



ここで暮らす人たちが仲間とともに、公園や緑道の使い方、まちのルールや方針を話し合い、自分たちの手で暮らしの環境を育てていくためのコミュニティがあります。それが「IITTE（イッテ）デザインミーティング」です。

すべての居住者がメンバーとなり、まちのこれからをともに考える。日々の小さな困りごとから、将来のまちのあり方まで、対話を重ねながら共有していきます。頼もしい仲間と支え合いながら、安心して暮らせる環境をつくり続けることができる仕組みです。

エリアの環境を維持し、魅力を育て続けるために、エリアマネジメント費というかたちでみんなで支え合いながら、まちの楽しさと安心を育てていきます。

30年後、50年後のまちの姿を思い描きながら、それぞれの時代に求められる課題に向き合い、地域で話し合い、積極的に取り組んでいく。ともにつくり、ともにつかい、ともに育てていく。

そんなエリアマネジメントのしくみが、このまちには息づいています。

暮らしのサポーター

日常の問い合わせ対応をはじめ、「交流棟」の利用受付や活動の運営サポート、各種イベントの企画・実施まで、日々の暮らしに寄り添いながら支えます。

まちづくりのサポーター

まちづくりのプロが、まちを未来へつなぐしくみをともに考え、よりよい環境を育てていくためのアイデアを提案しながら伴走します。

なりわいづくりのサポーター

好きなことや得意なことを活かし、地域に根ざした持続可能なしごとを育てていくために、ノウハウの共有や実践的なアドバイスでサポートします。

公園住宅イッテの魅力を高め、 未来へとつなげていくために

公園住宅イッテには、建築、緑、安心・安全、エネルギーなど、まちの魅力を高めるためのさまざまな工夫が込められています。そして、その魅力を持続させていくために、ここに暮らす皆さんに協力していただきたいことがあります。

誰もが歩きたくなるまちなみ、自然と会話が生まれるまちなみ、環境にやさしい暮らしへとつながるまちなみ—そんな広い意味での「まちなみ」を大切にし、その価値をともに育てていくための約束です。

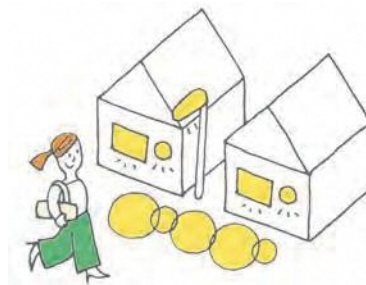
まちの魅力は、一度つくれば終わりではなく、時間とともに育てていくものです。だからこそ、ルールのあり方についても、公園住宅イッテに暮らす皆さん自身が話し合い、時代に合わせて見直していくことが大切です。



1. 安心・安全の工夫

屋外活動の促進と見守り

自宅前のガーデニングやベンチでの談笑、公園での活動など、まちに居場所があることが安心につながります。人が自然に外に出て、顔を合わせ、挨拶を交わす。その日常の積み重ねが、ゆるやかな見守りのあるまちを育てていきます。



連続する灯り

街路灯だけでなく、住宅の窓や庭のあかりがゆるやかにつながるまちなみを目指しましょう。外壁にソーラーパネル付きの自動点灯照明を設置するなど、灯りが絶えない環境を整えることで、自然な防犯効果を高めていきます。

2. エネルギーの工夫

風と緑のデザイン

太陽光発電など、自然のエネルギーを取り入れた暮らしを目指しましょう。植栽は、日差しをやわらかく遮り、葉の蒸散作用で空気を冷やし、心地よい風を室内へと導いてくれます。自然の力を活かす工夫が、やさしく持続可能な暮らしにつながります。



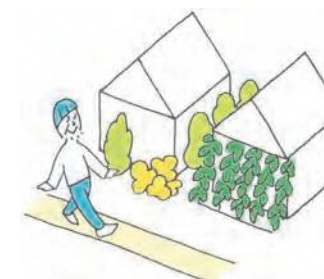
歩きたくなるまちへ

魅力的な居場所や、花と緑に彩られた通りをつくり、歩くことが楽しくなるまちを目指しましょう。車だけに頼らず、徒歩や自転車での移動を増やすことが、環境にやさしい暮らしにつながります。

3. 建築と緑の工夫

連続する緑

住宅の立木や生け垣、花壇などの緑や花がゆるやかに連なることで、歩く人の目を楽しませるまちなみが生まれます。日ごろから敷地内の植栽を丁寧に手入れし、心地よい景観を保ち続けることが、まち全体の魅力を育てていきます。



まちなみと調和する壁面

緑道や公園から自宅までの範囲を緑化することで、良好なまちなみ環境を育てていきましょう。外壁の色は、樹木や草花と美しく調和するよう、デザインガイドラインに沿った色を選ぶことが大切です。



公園住宅イッテ
LifeStyle Book

発行 令和 8 年 2 月

上山市 建設課

〒999-3192

山形県上山市河崎一丁目1番10号

Tel：023-672-1111(代)